

目 次

第Ⅰ編 総説	1
1 本書の目的	1
2 本書の構成	2
3 災害時要援護者の定義	3
第Ⅱ編 災害時要援護者支援策の検討体制	6
1 避難支援策検討の基本的なあり方	6
2 行政内での検討手法	7
3 関係機関との検討手法	10
4 地域住民との協働による検討手法	11
5 ワークショップ方式による地域住民との協働の検討	13
第Ⅲ編 災害時要援護者支援策の検討方法	17
1 資料の収集・整理	18
2 現状整理と課題の抽出	19
2.1 適切なタイミングでの避難開始に係る現状整理と課題の抽出	19
2.1.1 情報収集経路における現状整理と課題の抽出	19
2.1.2 意思決定システムにおける現状整理と課題の抽出	28
2.1.3 情報提供手法における現状整理と課題の抽出	35
2.2 避難時の生活環境に係る現状整理と課題の抽出	41
2.2.1 避難所リスト・諸元の整理	42
2.2.2 避難生活に係る課題抽出	44

2.3	適切な避難行動に係る現状整理と課題の抽出	46
2.3.1	要援護者支援検討マップの作成による現状整理	48
2.3.2	適切な避難行動に係る課題抽出	53
3	災害時要援護者の支援策の検討	57
3.1	適切なタイミングで避難開始するための支援策	57
3.2	避難時の生活環境の確保に対する支援策	63
3.3	適切な避難行動に係る支援策	64
4	支援策の確実な実行及びフォローアップ	69

■参考資料

参考1. 災害時要援護者の支援技術方策に関する検討会

参考2. 住民との協働に向けたワークショップの取り組み（例）

参考2.1 事前の企画ノート（例）

参考2.2 当日の配布資料（例）

参考2.3 後日の結果報告資料（例）

参考3. 災害時要援護者支援に関する関連資料等

参考4. 本手引きの災害全般への適用性

■付録

付録1. 用語解説

※本文、参考資料、付録の電子データは国総研水害研究室HPよりダウンロードできます
URL <http://www.nilim.go.jp/>